

月に一度は同友会に参加しよう！
参加したら必ず何かを持ち帰ろう！



12月の例会報告

例会等行事の申し込み・ご連絡には、e.doyuをご活用ください!!

例会開催のご案内などメールが届いていない方いませんか？
IDやパスワードがわからなくなってしまった方いませんか？
ぜひ一度ご確認お願いいたします

<https://ibarakie-doyu.jp>

日立支部

12月6日(水) 日立シビックセンターにて
「社長の仕事ってなんだ！Part2
～個から企業へ変える理由とは～」
報告者:丹野 和良さん
日立ユニオンデンタル(株) 代表取締役



日立支部12月例会の報告者は、日立ユニオンデンタル(株)の丹野和良さんでした。
丹野さんは、歯科技工士として既存システムからの脱却を図り、単身アメリカへ渡りました。1994年日本に戻り、日立ユニオンデンタルを開業。来る日も来る日も「歯」を作り続ける中で、学び合いの場として同友会を勧められ、オブザーバーを経て入会、青年部にも入りました。同友会で会社の中での仕組みづくりの大切さを学びましたが、何をすれば良いのか分からず模索する中で出会った一冊の本から、「機能体と共同体」を学び、「会社は機能体でなければならない」という考えを強く持ち、様々な戦略と戦術で自社を機能体の集団に作り上げていきました。
自社での取り組みを惜しげもなく披露してくれた丹野さんですが、最後に、社長の仕事とは何かについて、「社長は下を向いてはいけません。社員を照らし、温め、そして敵には灼熱の如く立ち向かう『太陽』でなければならない」という恩師の言葉を教訓として、「社長の仕事とは、計画と実行、そして太陽であること」と語ってくれました。
(レポート:事務局)



県央海浜支部

12月26日(火) ワークプラザ勝田にて
「経営指針後の実践！」
報告者:鈴木 達也さん
(株)鈴木建装 代表取締役社長



12月の県央海浜支部例会は、(株)鈴木建装の鈴木達也さんが報告を行いました。
県央海浜支部過去最高、43名の参加者が集まり、オブザーバーにも多数参加いただいで、立ち見まで出るほどの大盛況でした。
鈴木さんは、1人での限界を感じ、同友会に入会。様々な経営者との出会いが鈴木さんの考え方に影響を与え、素直に、そして謙虚に、同友会での学びを、まずは自社経営に取り入れていきました。その中で、実践しては壁にぶち当たり、仲間に相談して、また実践する、を繰り返しながら、確実に会社と家庭に変化、そして自分も明るく、経営が楽しくに変化、の報告でした。私も座長としての役割を改めて認識しました。
県央海浜支部は人数が少ないですが、来期からの可能性が見えました。鈴木さんの例会のように多数の経営者が集まる支部を目指します。
(レポート:天内 久子さん)

南西・県西・ドラゴン支部合同

12月14日(木) 麗風つくばシーズンズテラスにて
報告者:永井 義昭さん メガワークス(株) 代表取締役
埼玉同友会 東彩地区



12月14日(木)、恒例となった県南地区(南西・県西・ドラゴン支部)3支部合同忘年例会がつくば市の麗風つくばシーズンズテラスで開催されました。
第1部の報告会では埼玉同友会より、永井義昭氏をお招きし、ご報告いただきました。
永井氏は自己破産寸前まで追い込まれながらも同友会での学びを愚直なほどに実践し、社員さんと真摯に向き合って一緒に乗り越えてきたことが今につながっていると報告され、まさに「経営者としての覚悟」と「大きな夢」を感じることができた報告となりました。
第2部では、初の試みとして県南地区アワードが参加者による投票をもとに行われました。
アワード受賞者は以下の通りとなります。
・グランプリ:「自社の経営理念に基づき、経営計画を実践した企業」
…ドラゴン支部 (有)日青工業 専務取締役 青木恵之さん
・ベスト例会報告賞:「例会報告で最も優れた報告」
…ドラゴン支部 大野社会保険労務士事務所 代表 大野順市さん
その他、最多例会出席者賞・最優秀仲間づくり賞の授与が執り行われました。
第3部の懇親会では埼玉同友会やオブザーバーの方々を交え和やかな雰囲気の中交流を深めることができました。最後に青全交実行委員長の八巻大介さんの中締めにより、更なる同友会の発展を祈念され、盛況のうちに会は閉じられました。
(レポート:事務局)



水戸支部

12月20日(水) フェリヴェールサンシャインにて
「内山流老舗の造り方
失敗から学び、想いをつなぐ、6代目蔵元のこだわり。」
報告者:内山 庄栄さん (有)内山味噌店 代表取締役



12月例会の報告者は日立支部の有限会社内山味噌店、代表取締役、内山庄栄さんでした。今回は忘年例会ということで場所をフェリヴェールサンシャインに移して懇親会とセットで行いました。例会テーマは事業継承で、自分が先代からいかにたすきを引き継いだか、また自分の代でいかに維持・発展に取り組んできたかを失敗の経験も交えて話され、味噌・麹製造業から味噌・麹サービス業への業態変換でV字回復を果たし、現在更なる成長を続けるために取り組んでいる新規事業などをご報告していただきました。そして次世代にたすきを渡すポイントとして、創業の味を守る伝統や高い発酵技術、そして6つの家訓を上げられました。老舗を守るには伝統を守るだけでは駄目で常に挑戦していく姿勢が大事だと教えられました。本質的なものは守り一方で新しい変化に挑戦していくことが老舗を守る秘訣だと思いました。グループ討論のテーマは「あなたは来年、何を守り何に挑戦しますか？」でディスカッションしました。グループ討論の後、その場で懇親会に移り、懇親会の後で報告者からの質問回答や座長のまとめを行う異例のスタイルになりましたが、内山さんもお酒が入った後での回答だったのでより本音のトークが聞けた感じでした。中でも印象深かったのは「幸せは求めるものではなく感じるものだ」との言葉です。いつもとは違った例会スタイルでしたが好評の声を多く頂き良い例会となりました。
(レポート:山崎 勝弘さん)

